

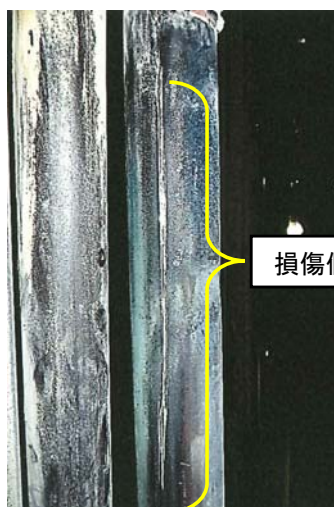
プロテクター取り外し後 ボイラーチューブにグラインダー傷が入っていた

【発生状況】

過熱器管のプロテクター取り外し後、監督者が確認した際にボイラーチューブへのグラインダー傷が発見された。

【作業状況】

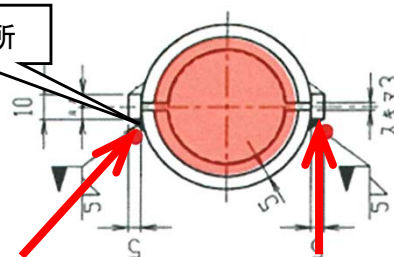
【損傷状況】



損傷箇所

過熱器管 : $\phi 45 \times 5.6t$
火SUS304J1HTB
($T_{sr} = 5.0t$)
プロテクター : 5t

損傷箇所



左側 切断角度
グラインダーボディが当たり
垂直に切断不可
(斜めに刃が入る)

右側 切断角度
垂直に切断が可能



【原因・問題点】

- ①グラインダーの刃がチューブ方向に向いた状態でプロテクターの切断をしなければならなかった。(グラインダーのボディがプロテクターに干渉するため、切断位置に対して垂直にグラインダーをセットできなかった)

【対策】

- ①ボイラーチューブにグラインダーの刃が入る可能性がある場合は、作業手順や作業方法の見直しを行う。
※当該事例の場合、プロテクターの片側を切断した後、もう片方は貫通する前に切断を止め、切断した側から折り曲げて溶接部を割る。